

清流のほとり

令和6年4月10日(水)発行

園長 津田 将美



ENCHO

両方の園にアクセスしていただき閲覧数のアップ、情報の共有にご協力ください。



寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

10の姿 ～始業式、入学式から～

春風が心地良く吹き、身も心も緩めてくれる季節となりました。ソメイヨシノをはじめ、松田町の花々が一斉に咲き始め、春の穏やかな気候に新年度の希望の光を当ててくれているようです。

4月8日は、始業式でした。雨予報をくつがえし、穏やかな日差しのととても気持ちの良い日でした。

やっぱり幼稚園には、子どもたちの笑顔が似合います。園の雰囲気も一斉に華やいだものになってきました。一人ひとりの表情からは、進級への期待があらわれてくるようです。どの子もすでに素敵なおにいさん、おねえさんでした。

始業式が始まると、さすがに年長組さん、年中組さんです。しっかりと前を向いて、話を聞いてくれました。今年度は園長の話は短めにして、職員紹介では、自己紹介をしてもらいました。

長い話ではできませんが、職員一人ひとりが自分の持ち味を出し、素敵な時間となりました。何よりも子どもたちの反応が良く、話している職員もとても気持ちがよかったことと思います。

反応ができるのは、話をしっかりと聞いている証拠です。そういう意味でも子どもたちが育っているなあ…、と感じる始業式でした。このように職員と子どもたちが一体となった活動が、今年度もたくさんできるといいな、と思いました。

翌日の入園式は打って変わって、どしゃぶりの雨でした。しかし、この日参加した年長組の子どもたちがすばらしい見本になってくれて、新入園児の子どもたちもしっかりと反応してくれて嬉しかったです。

園長は、ペットボトルの手品まがいのことまでやらせていただき、楽しませてもらいました。降壇時には、保護者の方々から拍手をいただき、とてもいい気分になりました。ありがとうございました。

右は、昨年度も紹介させていただいた「幼稚園教育要領」に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」です。

「10の姿」は、小学校における各教科の到達目標のようなものではなく、植物が根っこから吸い上げる栄養のようなものです。これらは、個別に発達するのではなく、相互に関連し合って積み重ねられていくものです。

始業式、入学式でもこれらの栄養がたっぷりと吸い上げられていることを感じました。

今年度も、心の栄養を蓄えていきます。



職員の離任について	田中こずみ(教諭) : 寄幼稚園へ	ありがとうございました
	北村みゆき(教諭) : 退職	
	宇山三保子(支援教諭) : 退職	